

お客様と大和製衡(株)を結ぶ情報誌

Yamato

ヤマトニュース



「初夏渓流」PHOTO by S.YAMAOKA

PL-MLC9 活用事例のご紹介

国内展示会 | FOOMA JAPAN 2009

海外展示会 | AUS PACK 2009

商品情報 | 防水卓上形デジタル台はかりDP-6600シリーズ
大容量高精度吊はかり
高感度X線異物検査装置

新役員紹介 執行役員制度創設のお知らせ



超薄台はかり PL-MLC9シリーズ

特長

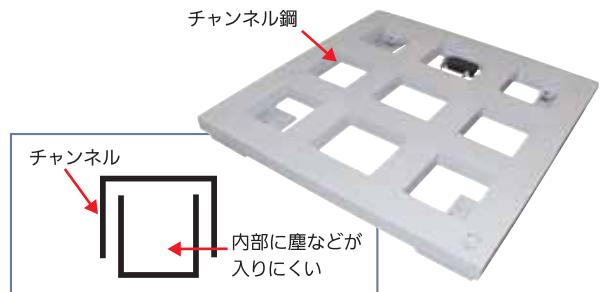
1 用途に応じた指示計を選ぶことが可能

お客様の使用条件に応じて、蛍光表示タイプ(AC電源仕様)と液晶表示タイプ(乾電池仕様)を選択することができます。



2 超薄形設計

ひょう量 600kgタイプの計量本体の載台高さ、85mmの薄形設計。



3 高い堅牢性の実現

上下フレームは、チャンネル鋼を採用し、耐久性に優れた構造となっております。

4 ステンレス製も製作可能

計量本体は、鉄塗装品が標準仕様であります。また、食品、薬品等原料計量で求められております。ステンレス仕様(ロードセルもステンレス製)の製作も行います。

5 オプションラインナップも充実

水平調節脚、リフト用ガイド、手押しハンドル付移動用キャスター、フリーローラ、スロープ付も用途に応じて対応致します。

ご採用事例

お客様業種

貴金属リサイクル、廃電子産業廃棄物処理事業者

採用条件

- フレコンバックに入った廃棄物の計量に使用したい。
- 計量器の設置を屋外にしたいので、計量本体の材質をステンレス製としたい。

ご採用機種

計量本体形式 :PL-MLC9(材質／ステンレス製)

指示計 :EDI351

ひょう量 :2000kg

目量 :1kg

載台寸法 :1200×1200mm



オプション

- 水平調節脚(材質／ステンレス製)付
- リフト用ガイド(材質／ステンレス製)付
- 指示計一体型ジャーナルプリンター JPS508付
- 指示計用分離スタンド付

防水卓上形デジタル台はかり DP-6600シリーズ

食品業界では、HACCP認定工場の増加に伴い、安心で安全な商品を消費者に提供するため、設備投資に積極的な企業が多く、防水性が高く衛生管理のしやすいオールステンレス製の計量器の引き合いが増え続けております。また、生産管理やトレーサビリティの観点より、計量データを保存するニーズが高まっております。

このようなニーズにお応えして、作業者へは3色LEDにより上下限別が容易で作業性の簡便化が図れる、又、管理者へはワイヤレス通信(オプション)やUSBメモリ(オプション)により計量データの管理が容易にできる卓上台はかりとして、DP-6600シリーズ(新検則適合品)を発売いたします。



特長

1 定量計量作業に最適なLED判別機能搭載

3色LEDとブザーにより、定量詰めの作業が従来品に比べよりスピーディに行えます。従来は数値とバーグラフで判別を行っていたため、作業者にとって見づらい問題がありましたが、LED表示にすることで一目で上下限別でき作業効率が飛躍的に向上します。



判別色赤色：軽量



判別色青色：適量



判別色黄色：過量

2 質量値、設定質量値が一目で判る、3データ表示機能搭載

設定質量値を表示することで、作業者は安心して作業することができます。また、第三者からも設定質量値を確認することができるため、作業者の設定ミスを防止することができます。



質量値 下限値 上限値
(設定質量値) (設定質量値)

[定量計量機能・チェック機能モード時のみ]

3 IP65の防水・防塵設計

オールステンレスボディで防水・防塵性能IP65準拠。洗浄性に優れていますので、常に衛生的で清潔な環境で計量できます。

4 加算式・減算式ランク選別機能搭載

従来の加算式ランク選別に加え、減算式ランク選別も搭載しましたので、選別作業がスピーディに行えます。また、減算式ランク選別の場合、計量物の総量、質量が表示されますので質量の確認もできます。

5 ワイヤレス通信機能対応(工場オプション)

無線通信により、計量データをパソコンに取り込むことで、計量データの集計・分析・管理が簡単に行えます。また、従来のBluetooth™無線通信オプションに加え、ZBee無線通信も選択可能になり、はかりが最大30台まで接続可能となりました。

6 USBメモリ機能付きも準備(工場オプション)

USBメモリを使用し計量データを簡単にパソコンへ取り込むことができます。

FOOMA JAPAN 2009



FOOMA JAPAN 2009(国際食品工業展)が、6月9日～6月12日までの4日間、東京有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて開催されました。

32回目となる今回は「おいしいテクノ、あります」をテーマに、595社の食品関連メーカーが出品し、国内外から103,401名(主催者発表)の来場がありました。

本展は、1978年の第一回開催以来、食品機械を中心とした展示が行われてきましたが、近年は「原料処理」から「包装」「搬送」に至る工程に加え、「衛生」「環境対策」や「検査」「エンジニアリング」など食品製造に携わるあらゆる内容を網羅したトレードショーとして発展し、今やアジア最大規模の工業展となりました。

Yamato は、東3ホールに20小間のスペースを構え、「革新的な計量技術のソリューション」をテーマに展示を行いました。

メインの展示は **SIGMA F1-Compact ADW-324MD** と、川島製作所殿の新形縦ピロー包装機 KBF-6150X を連動し、「ヘッダー付き異種4連包装品」を100回／分の速度で計量包装する実演を行いました。従来は、数台の組合せばかりを使用し生産していた「連包包装品」や「ミックス包装品」を、1台でかつ高能力、高精度で生産ができる事を提案し、多くのお客様より賞賛の声を頂戴いたしました。

また **SIGMA F1-Frontier ADW-F314SV** は、大形パネルスクリーンと実機を使用し、その革新的なコンセプトにより、150回／分の高速運転でも包装機シール部での噛み込みがなく、包装資材の廃棄量を大幅に削減できる事をアピールしました。

「簡単調整」「簡単操作」「簡単メンテナンス」と「環境対応」をコンセプトに開発を行いました、新製品のEシリーズオートチェックは、液晶カラータッチパネルの操作性、食品対応のステンレスボディに加え、使う場所を選ばないその汎用性に共感をいただき、多くの引き合いをいただきました。

昨今の食品業界で最も関心の高い、「食の安心安全」をお約束する検査機器といたしまして、新型X線異物検査装置Vシリーズを展示いたしました。その検出感度と使いやすさにお客様より高い評価をいただきました。

その他、省スペースで省力化が実現できるケースパッカー FCP-550VAや、設置場所を選ばずにオールマイティで、歩留向上と作業効率の大幅アップが達成できる卓上データウエイTDW-2102WPの実演も行い、多くのお客様から注目を集めました。

当社は、今後多くのユーザー様に貢献できる、革新的な計量技術の開発に努めてまいります。



『高感度X線異物検査装置』のご紹介

XA2412WRV(小形／防水仕様)

XA2412DRV(小形／非防水仕様)

XA4015WRV(大形／防水仕様)

近年、食品の生産ラインには欠かすことができないX線異物検査装置が、このたび「Vシリーズ」として新しくデビューすることになりました。より一層の安心と安全をご提供するために、操作性を重視し、更なる高感度を実現いたします。



高感度 高感度での異物検知を実現

■新開発「シームレスラインセンサ」を搭載

特長1 高感度で異物検出

X線貫通形フラットコンベヤで検査物を搬送しながらX線を照射し、独自のシームレスラインセンサでX線量を検出して画像の解析を行い、異物混入や内容物の過不足の有無を自動判別します。

特長2 高い安定性

ラインセンサ部の温度を常時一定に管理し、X線検出レベルを安定させます。作業開始から終業まで、同一の検出感度で使用でき、稼働時の誤検出を低減します。

特長3 感度段差の解消

シームレス(継ぎ目のない)ラインセンサのため、センサ間(継ぎ目)での感度段差を無くし、安定した異物検出をお約束します。

■独自の画像撮影技術で鮮明な検出画像が得られます

金属異物に比べ、骨や樹脂などの比較的X線が透過しやすい異物でも、コントラストを鮮明にした画像が得られ、異物を高感度で検出します。

簡単操作 作業者の立場に立った操作性

15インチの大形液晶タッチパネルを採用し、「見やすさ」「使いやすさ」を徹底追求しました。設定方法は、自動設定ボタンを押して、検査物を流すだけで設定完了し、コントラスト・検査画質をオートチューニングし、最適な感度調整を行います。



機能性 独自の画像撮影技術で高感度検査を実現

欠品検査機能、脱酸素剤認知機能、マスキング機能など目的に合わせた検査機能を充実させています。しかも、レベルゲージによる感度モニタでは、感度マージン(感度の余裕)が一目で分かり、運転中でもラインを止めずにレベルゲージを見ながら、検出感度の微調整が可能です。



品質管理 様々なデータ管理が可能

運転中に検査画像や設定値の確認ができます。

しかも、USBメモリを用いてパソコンに異物画像や検査結果、設定値の保存が可能です。

大容量高精度吊はかり

ひょう量20t 精度±6kg(1/3300)を実現しました。

- 従来、大容量(10t~100t)においては、精度が±1/1000程度でした。また、20t用であれば全長が約2mと長く、クレーンに吊した場合、その分、吊り代が少なくなり、実際に吊ろうとする品物が吊れなくなるという不具合がありました。



- ロードセルは引張形ロードセルを使用していましたが、今回、圧縮形ロードセル(CC21型)を複数個使用することにしました。ダブルコンベックス構造の復元力を利用した構造にして、再現性の強化と、ロードセルを複数個(3個)使用し、相乗平均効果による精度UPを図り、ひょう量20t 目量2kg 精度±6kgの仕様を満足する事ができました。
 - また、寸法(全長)においても引張形ロードセル式に比べ約300mm短くすることができました。
 - その他、無線式(国内電波法で無許可で使用可能な周波数)としている為、本体と指示計間は約50m離れても確実に読み取れます。また乾電池式のため、可搬しやすく作業性も便利となっています。
- 納入後順調に稼働していて、安定した計量を行っており、お客様より好評を得ております。



*現在、特許申請中です。

「ヤマトニュース」発行400号

おかげさまで「ヤマトニュース」は、今号で400号を迎えました。

これからも「お客様と大和製衡を結ぶ情報誌」をモットーに、

紙面の充実、発展を目指してまいります。

どうぞ変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。





AUS PACK 2009



2009年6月16日(火)～19日(金)までの4日間、オーストラリア・シドニーのSydney Olympic Parkのショーグランドで開催された包装関連機械工業展「AUS PACK 2009」に、当社製品の取り扱い代理店ブースにて協賛出展いたしました。

本展示会は2年に1度開催されるオーストラリア最大の包装機展で、メルボルンとシドニーでの交互の開催を行っており、今回はシドニーでの開催となりました。

当社代理店のSelpak社とautopac systems社ではそれぞれデータウェイとオートチェッカを展示し、Selpak社では革新的な組合せはかりのΣ SIGMA F1-Frontier ADW-F314SVとADW-F514SVをはじめ上海大和製のADW-510ACも同時に展示し、多くの来場者の注目を集めました。

また、autopac systems社ではCSH22L-F0のオートチェッカとCSH22LM-F0の金属検出機一体形オートチェッカを展示し、お客様に興味を持ってYamatoの製品を見ていただくことができました。当社の製品がお客様のニーズにいかに応えられるかを知っていただく貴重な機会である展示会を通して、このたびも数多くの引合いをいただき、オーストラリアにおけるYamatoというブランド名を、そして今後のさらなる可能性をアピールすることができたと強く感じております。



新役員紹介

「百年に一度」の経済危機を乗り越える企業であるために

常務取締役事業本部長兼
上海大和董事長
安尾 利和



7年振りに本社業務に復帰し、このたび常務取締役に選任され事業本部・本部長職を拝命することになりました。

この間、上海にあります上海大和衡器有限公司の経営に当たって参りました。料金はかりからスタート

した当該会社も今では産業用ばかりならびに自動機器製品を主力製品とするようになり、その一部は本社経由で日本国内のみならず世界中に輸出されております。これも偏に関係各位のご理解とご支援の賜物であり、紙面を借りて御礼を申し上げる次第であります。

さて、このたびの百年に一度と言われる経済危機の影響は、もちろん中国においても少なからず実感していたつもりではありますが、日本のそれは遙かに予想を上回る厳しいものであります。

当社にとっても、先ずは生き残事が最優先命題であります。中国での経営においては“品質が命”を合言葉に取り組んで参りました。経営に奇策は無く、危機に面した時ほど基本に返ることが重要であると考えます。

常に顧客という鏡に我が身を写し、経営品質・管理品質・行動品質の改善・向上に全力で取り組んで参る所存であります。宜しくお願ひ申し上げます。

役員改選および執行役員制度創設のお知らせ

平成21年6月29日に開催されました株主総会におきまして、取締役5名が選任され、また執行役員制度の創設を発表致しました。これを受けて引き続き開催された取締役会におきまして取締役の担当業務を決定し、執行役員の任命が行われました。

今回創設されました執行役員制度は、取締役を少数精銳化して、経営方針の決定・執行状況の監督により注力することで取締役会の強化を図り、同時に業務執行の効率化を図るものであります。

| | |
|------|-------------------------------|
| 役員一覧 | 代表取締役 川西 勝三(社長) |
| | 取締役副社長 川西 能久(自動機器事業部長) |
| | 専務取締役 大田 孝雄(総務部長) |
| | 常務取締役 安尾 利和(事業本部長兼上海大和董事長) |
| | 監査役 大松 基秀 |
| | 中村 貞雄(自動機器事業部副事業部長 事業部副統括) |
| | 林 豊彦(自動機器事業部副事業部長 海外営業担当) |
| | 執行役員 岡村 剛敏(自動機器事業部副事業部長 技術担当) |
| | 小笠原 和行(自動機器事業部副事業部長 国内営業担当) |
| | 猪澤 正昭(生産本部長) |

信頼・技術・創造
ヤマト 大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社 営業 TEL:073-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
普通はかり営業課 TEL:073-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
東日本支店 TEL:050-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
中日本支店 TEL:0460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
千葉営業所 TEL:0264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号
九州営業所 TEL:0812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL:078-918-5555
TEL:078-918-6540
住友生命浜松町ビル4階 TEL:03-5776-3121
朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL:052-238-5730
ショールーム都賀1階 TEL:043-214-3920
博多エイトビル1階 TEL:092-471-1921

2009年7月発行 09071200 ik



PRINTED WITH
SOY INK

本カタログは環境に配慮し、
植物性大豆油インキを使用しています。